２０２０年　３月

～第 82 号～

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

『イタイイタイ病を考える県民フォーラム』を開催しました

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

２月 15 日（土）、とやま健康パーク２階第１研修室において、『イタイイタイ病を考える県民フォーラム』を開催しました。

今年は、8 回目にして初めての例年とは異なる会場での開催となりましたが、県内外から約 150 人の多くの方々に参加いただきました。

開会の挨拶で石井知事は関係者に対し、イタイイタイ病が日本初の公害と認められてから 50 年余の年月が経過した現在、今日までの多くの困難の克服へのたゆまぬ努力に敬意と感謝を表しました。また、今後も連携して、悲惨な公害が二度と繰り返されることがないよう、未来志向で環境と健康を大切にする元気な富山県づくりへの決意を述べました。

～富山県知事挨拶～

続く、次代を担う若者たちによるイタイイタイ病に関する学習発表会では、富山市立宮野小学校 6 年生の皆さんに発表していただきました。

昨年５月と９月の二度のイタイイタイ病資料館の見学や、語り部との対話などイタイイタイ病の学習を通じて、患者や家族の思い、先人の想い、自分たちの使命等について考えてきた想いを伝える発表劇は、「総合」の授業の中で生徒たちが中心となって作り上げられたもので、寸劇と学習成果の発表とで構成されており、子供たちの熱演には会場中が引き込まれ、中には涙をぬぐう参加者の姿も見られました。

最後に、会場の参加者も交えて唱歌「ふるさと」を合唱し発表は終了しました。

《発表劇》

《ふるさと合唱》
～学習発表会(宮野小学校６年生)～

その後、飯田館長による事業報告では、入館者状況や、資料館がイタイイタイ病について知ってもらうために広く国内外に向け実施している取り組みや、イベントについての報告がありました。

～飯田館長による事業報告～

フォーラムの締めくくりは、女優で、環境問題などの講演やシンポジウムでも活躍されている萩尾みどり氏に「今、私達にできること」と題し、ご講演をいただきました。

会場の参加者からは、「地元ならではの視点でよく学習され、分かりやすくまとめられていた。」「純粋で真剣な思いが伝わり感動した。」など学習発表の称賛や、「有名な女優が語る日頃の省エネ行動が興味深く印象的だった。」といった感想、また公害の風化防止の観点からも、このような機会の重要性についての意見もいただきました。